

どんな人たちが、だれを相手に、どんな思いで、 どんなケアをしているか

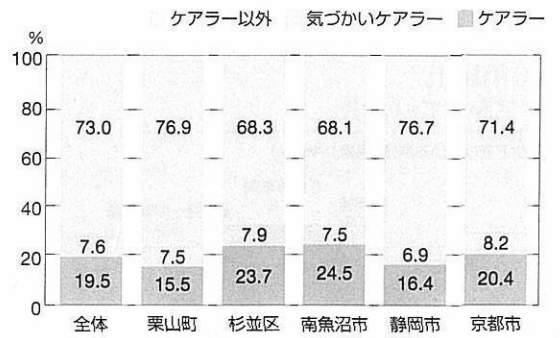
●ケアラーのいる世帯は5世帯に1世帯です

有効回答数 10,663 人のうち、ケアラーは 2,075 人 (19.5%)、気づかいケアラーは 807 人 (7.6%) でした。気づかいケアラーとは、「家族や身の回りの人の介護」「看病」「病気や障がいを持つ子どもの療育」「世話」「心や身体に不調のある家族や身の回りの人への気づかい」のうち、「気づかい」のみをしているケアラーです。

●ケアラーはこんな人たちです

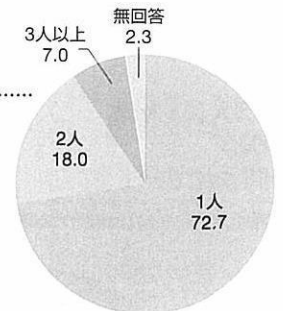
- ここではケアラー 2,075 人を対象に分析しました。
- ケアラーの 3 分の 2 が女性、3 分の 1 が男性です。
- ケアラーの 13 人に 1 人は育児と介護の両方を行っています。
- ケアラーのうち正規雇用者は 6 人に 1 人、非正規雇用が 6 人に 1 人、17 人に 1 人は失業中です。
- ケアラーの 2 人に 1 人強が「介護」、4 人に 1 人が「看病」、8 人に 1 人が「子どもの療育」、5 人に 4 人が「世話」、7 人に 5 人が「気づかい」など多様なケアを二重三重に行っています。
- 別居しているケアラーは、4～5 人に 1 人、そのうち、ケアをしている相手のもとに行くまでに 2 時間以上かかるケアラーは 7～8 人に 1 人います。

◎ケアラーのいる世帯の割合(単位%)



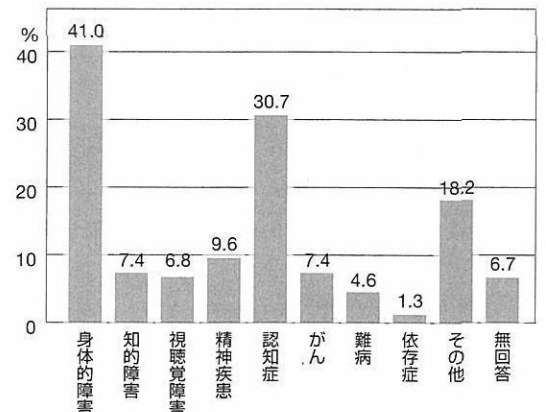
1人に1人は
複数の人の
ケアをしています。

◎ケアをしている相手の人数(単位%)



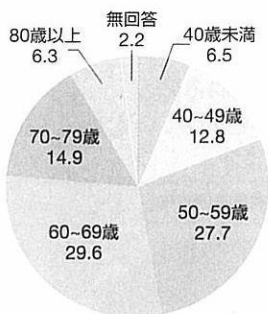
さまざまな
病気や障がいで
ケアが必要です。

◎主にケアをしている相手の病気や障がい(単位%)



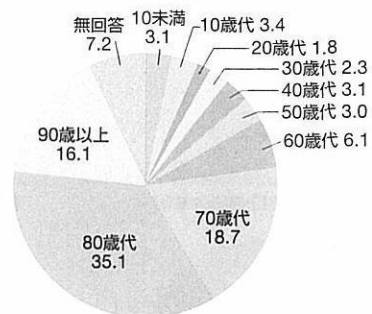
ケアラー年齢層は、
10歳未満から80歳代まで
各年代に幅広く分布しています。

◎ケアラーの年齢(単位%)



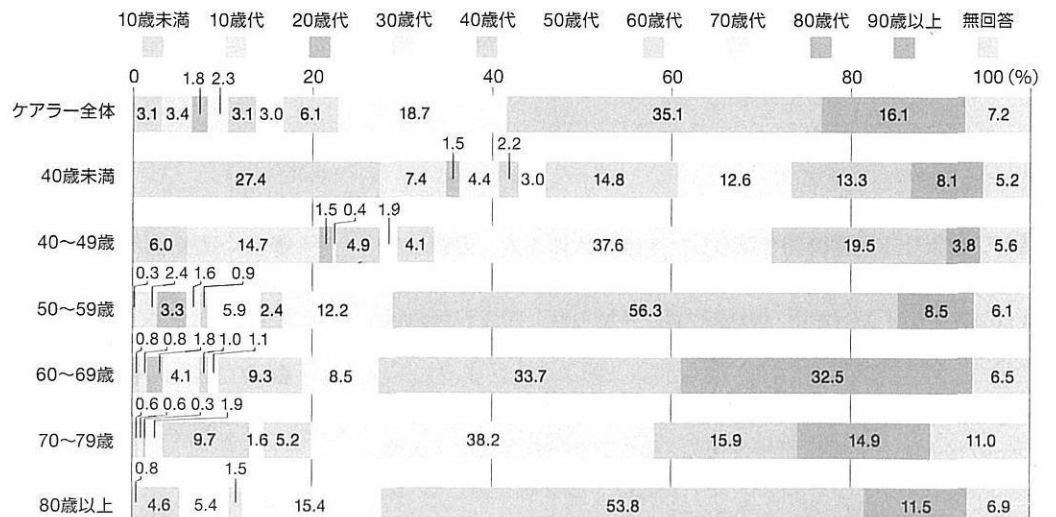
ケアをしている相手は
10歳未満から
90歳以上までいます。

◎主にケアをしている相手の年齢(単位%)



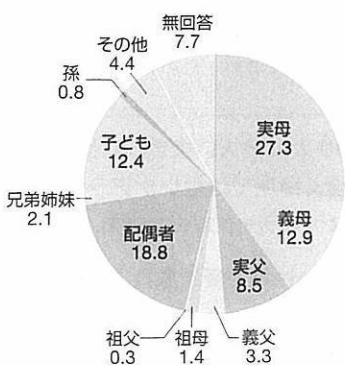
10歳未満から80歳以上のケアラーが10歳未満から90歳以上のケアをしています。

◎ケアラーの年齢層別主にケアをしている相手の年齢層(単位%)



ケアをしている相手は
親から孫までいます。

◎主にケアをしている相手の続柄(単位%)

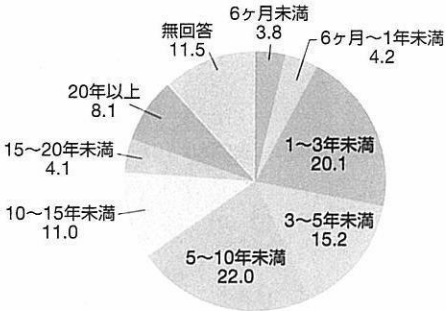


●ケアラーはケアをすることで生活に制約を受けています

2,075 人のケアラーは、時間的に、精神的に拘束され、生活にも影響が生じていますが、支えのない人もいます。

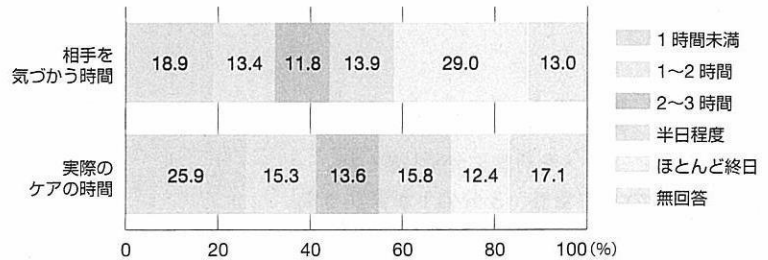
12人に1人は
20年以上
ケアをしています。

◎ケアをしている期間(通算)(単位%)



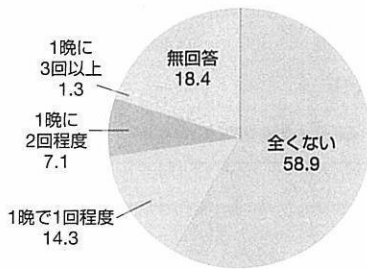
相手のことを考えたり、気づかたりしている時間は、
実際にケアしている時間よりずっと長くなっています。

◎主にケアをしている相手を気づかう時間・実際のケアの時間(単位%)



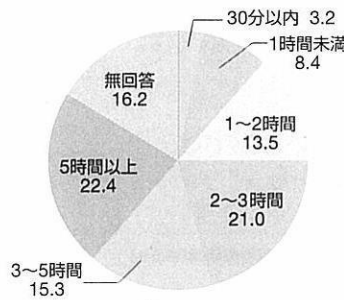
4~5人に1人は
睡眠が
中断されています。

◎深夜(0時から5時)に中断される睡眠の回数(単位%)



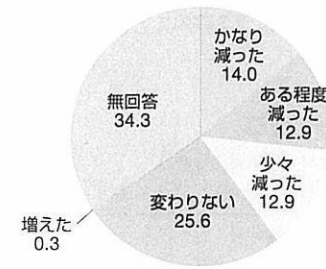
9人に1人は、
自由時間が
1時間未満です。

◎自分のために自由に使える時間(単位%)



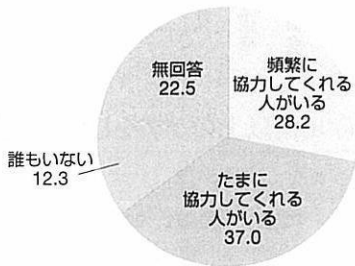
5人に2人は、趣味や
ボランティア活動など社会活動の
機会が減りました。

◎ケアをする以前の社会活動の機会(単位%)



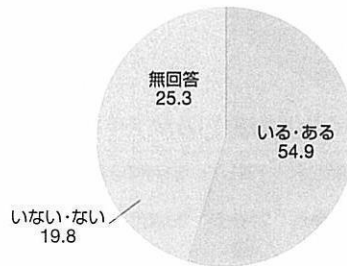
8人に1人は
協力してくれる人が
誰もいません。

◎ケアに協力してくれる人(単位%)



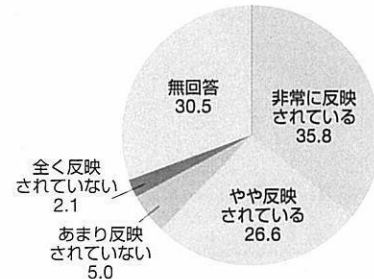
5人に1人は、
信頼して相談できる
先がありません。

◎信頼して相談できる人や窓口・機関(単位%)



ケアの方針を決める際、
意見が全く反映されていない人は
50人に1人います。

◎ケアの方針への意見反映(単位%)



グラフの赤色で示したグループは相対的に少数であっても、支援への希望の強い、緊急対応の必要なケアラーグループです

●ケアにより、勤務時間を減らした人は9人に1人、退職した人は9~10人に1人、転職した人は30人に1人、休職した人は40人に1人います(複数回答)。そのうち、収入がおおいに減った人は3人のうち2人です。

●依存症の人のケアラーの5人に2人強、知的障害の人のケアラーの5人に2人弱、精神疾患の人のケアラーの3人に1人強、認知症の人のケアラーの3人に1人弱は、孤立感を感じる(感じた)ことがあります。

●全く健康ではないケアラーは100人に3人います。4人に1人はあまり健康ではありません。全く健康ではないケアラーの支援希望は強く、緊急対応の必要なケアラーグループです。

●40人に1人は健康診断を受けたいけれど受けられていません。6人に1人は受けていません。